



絵本遊び 読み聞かせ インストラクター

一般社団法人全国乳幼児遊び研究協会

講師：みやざき あゆみ

02

講義2：読み聞かせの効果



講義2：読み聞かせの効果

絵本の読み聞かせは、子どもの感性を豊かにして想像力を育てるという事は有名なお話ですが、他にも様々な効果がある事をご存知でしょうか？

特に重要なのが、幼児期における絵本の読み聞かせとされています。

どんな効果があるのでしょうか？

講義2では、「効果」について学んでいきます。



1. 読み聞かせで自己肯定感を伸ばす

「自己肯定感」 = 自分の存在を肯定して自分を大切にしようとする気持ち。
前向きにとらえる力。

人生をポジティブに進められる。
他人からの評価に頼り過ぎない。
これらの力を高めて自信へと繋げられる。

その為に、自分自信の脳に肯定的な言葉をかけてあげて、存在を受け止めてくれる絵本を読むことにより自己肯定感が育まれます。

「脳は主語を理解できない」

理性の脳（大脳新皮質）は主語を理解しますが、心の脳（大脳辺縁系）は主語を認識できないそうです。

その為、肯定的な言葉が多い絵本を繰り返し読み聞かせをすると、絵本という言葉の蓄積により自己肯定感が高まります。

沢山肯定的な言葉の多い絵本を読んであげましょう！

その事により、読み手のあなたの心の脳も反応してあなた自信の自己肯定感も高まりますよ。

2. 読み聞かせで非認知能力を伸ばす

非認知能力 = コミュニケーション力
物事に取り組む意欲
人が生きる為に必要な心の力

数値化できる「認知能力」に対して「非認知能力」は、学習能力の土台ともなり、子どもが充実した人生を送る為に大切な力として世界的にも注目されています。

【非認知能力が育まれる環境】

- * ワクワクドキドキする感情がうまれる環境
- * 自分で考えたり想像する必要性に迫られる環境
- * 簡単なチャレンジから難しいチャレンジまで幅がある環境

【絵本と非認知能力とのつながり】

絵本の読み聞かせにより、子どもは主人公になりきって疑似体験ができます。日常に戻った際に、登場人物が頑張っていた事や乗り越えていた事を思い出し、真似をしながら自身で工夫する事を学びます。普段出会えない驚きやナゾに出会い、登場人物を励ましたりする中で子どもが遊びの中で困った際に、自分を励まし、奮い立たせて、前向きに進める力こそ非認知能力だと言えるでしょう。

☆休憩☆

『クシュラの奇跡ー140冊の絵本との日々』
染色体の異常により複雑で重い障害を抱えたニュージーランドの女の子。
名前はクシュラ。
生まれてから3歳9ヶ月になるまでの成長の記録とその間にクシュラが出会った140冊の絵本の物語。
腎臓や心臓、視力、身体的な発育の遅れと、生後間もなく次々と異常が発見され、絶望的な日々を送っていたクシュラとクシュラの両親。
夜も昼も寝れない、赤ちゃんとの長い時間に行った絵本の読み聞かせ。
クシュラにとってのその後を大きく変えた。
三歳になったころ、健常児をはるかにしのぐ得意分野をもつ。
絵本により、豊かな言葉を知りその後の人生を大きく変えた感動の記録。

3.大人とのコミュニケーションツール

絵本の読み聞かせは大人と子どもとのコミュニケーションの機会です。
言葉を理解しない0歳児であっても、大人から語りかけられる行為に大きな意味があるのです。

自分の為に時間を使ってくれるという事での満足感。
近くで時間を過ごすという時間の共有による安心感。
絵本を読んでもらう事により、子ども(達)は幸福感を得られるのです。

4. 様々な学び

- * 多くの言葉
- * 友達とのかかわり方
- * 家族とのかかわり方
- * 想像力
- * 命の尊さ
- * 生活習慣
- * 食事の大切さ
- * 様々な世界の発見
- * 大冒険
- * 感受性を伸ばす

etc.

絵本の読み聞かせは多くの学びを得る事が出来ます。
3歳を過ぎた頃からは、絵本の主人公にもなったような気持ちになって、絵本の世界観に入り込めるようになります。

大切な時期に多くの絵本と接する機会を作る事により、心も安定して、人として大切になる様々な部分が成長していくのです。

5. 読み手への効果

講義 2

絵本の読み聞かせの効果の対象は子どもだけではありません。

読み手（あなた）自身、保護者や保育者にも嬉しい効果があります。

読み聞かせを行う事で、前頭前野が活発に働くようになると言われていています。（東京大学大学院教育学研究科の研究による。）

前頭前野は思考や想像力、感情のコントロールを行う部分になります。

絵本の読み聞かせをすることにより、読み手(あなた)の心の安定にも繋がるという嬉しい効果が期待できます。

まとめ



絵本の読み聞かせは、心の成長や社会性を学ぶことができるツールとして有効となります。

子どもに何かを伝えたい時に直接伝えるのではなく、絵本を通して、子ども自身が感じ考え学ぶ事さえできるのです。

大人と子どもとの大切なふれあいの機会であります。自己肯定感や非認知能力を高め、心の安定安心を得る効果があるのが絵本の読み聞かせなのです。

更に読み手にも良い効果がある読み聞かせは、行わない理由が見つからない程です。

子ども(達)の未来に必要な、そして大切な事を絵本の読み聞かせで成長させてあげてくださいね。

Thank You



講義 2

講義お疲れ様でした。

絵本の読み聞かせの効果についての講義はいかがだったでしょうか？

多くの効果がある読み聞かせは、魅力の塊だと感じている私です。

そこで、講義2の課題です。

【課題】

あなたはどんな時に絵本の読み聞かせをしたいですか？

あなたの立場で、どんな時に（どんな事を伝えたい時に）読み聞かせをしたいかを自由にご記載ください。

子ども達のように想像力を膨らませてみてくださいね。

ラインにてお送りください。

楽しみにしています。